

製品仕様	
主要構成部品	1 (2) IC, 3 (2) TR, 他
検知入力感度	SA型 3.6KΩ以下 SB型 40KΩ以上 SV型 DC11.5V以上
製品寸法	60×85×40 ^{mm} 〈突起部含まず〉
製品重量	約84g 〈ACアダプターは含まず〉
付属品	専用ACアダプター

本製品は、予告なしに改良されることがあります

遠隔監視緊急通報装置

impulse24

インパルス24

取扱説明書



(有)茨城電子技研

〒300-0023 茨城県土浦市沖宿町726
TEL029 (828) 0711 (代) FAX029 (828) 2177
<http://www.ibaden.net> info@ibaden.net

はじめに・・・

このたびは、遠隔監視緊急通報装置「インパルス24」をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。この装置は、自宅から離れたビニールハウス等において、不心得者による侵入や暖房装置の故障、燃料切れなどの被害を無くすために当社が開発した装置ですが、他にもいろいろな用途にご使用いただけます。ご利用に際しましては、本書を良くご理解の上、末永くご愛用くださいますようお願いいたします。

■ 本装置の特徴

- ・機種により各種のセンサーを複数個接続することができます。
- ・センサーが検知すると接続された携帯電話を自動発信させ、あらかじめ設定された番号に通報いたします。
- ・ハウス用暖房制御器などの異常時出力を直接接続することも可能です。

■ 警告／注意

- ・防雨型ではありません。濡らさないでください。
- ・携帯電話のバッテリー切れや感度不足に注意してください。
- ・回線や電波状況等により正常に発信できないこともあります。
- ・異常が連続する場合の発信は一度限りです。

■ 製品の保証

通常のご使用において製品に不具合が発生した場合は、お買い上げ後6ヶ月間は無料で修理をいたします。その後は、有償

修理とさせていただきます。ただし、製品の受渡しに関する運賃送料等は、保証期間中も含めてすべてお客様のご負担となりますのでご了承ください。

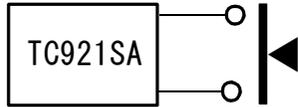
■ お願い

本装置は、ビニールハウス等での農作物の低温被害を少しでも低減させるために開発した機器であり、本装置を使用した上でお客様が被った被害について当社がそれらを補填するものではありません。

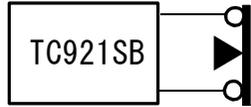
■ 本装置の使用方法

- 1 センサーや異常時出力端子からの電線をセンサー等接続端子に取り付けてください。
センサーの種類や接続時の極性、携帯電話の設定など、詳しくは裏面をご覧ください。
- 2 本体後部から出ている携帯電話接続コードの先端のプラグを携帯電話のイヤホン端子に挿入してください。
- 3 付属のACアダプターのプラグを本体後部のACアダプター接続端子に挿入してください。
- 4 電源スイッチを入れると約1秒後に動作を開始します。動作表示灯は検知時のみ点灯します。
- 5 設置後、検知センサーを動作させるか、本体内部のテストスイッチを押すなどして動作表示灯が点灯し、数秒後に携帯電話が自動発信することを確認してください。うまく発信しないときは時定数調整VRを左右どちらかに少しだけ回してお試してください。
- 6 着信を受けた側が電話を切ることで携帯電話の表示により課金が止まることを確認してください。

センサー等接続方法

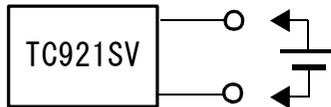


■SAタイプ(無電圧)
 常時はオープン状態で、異常時に接点が短絡(ショート)する
 ものです。a接点、メーク接点などとも呼ばれています。常
 時は10KΩ以上で、非常時に3.6KΩ以下となるようにしてく
 ださい。極性のあるセンサー等でうまく動作しない時は端子の接続を逆にしてください。接点
 容量は12V5mA以上ならOKです。< 0Ωでの短絡時に1mA程度流れます。>

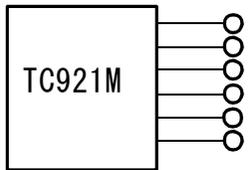


■SBタイプ(無電圧)
 常時はショート状態で、異常時に接点が開放(オープン)する
 ものです。b接点、ブレーク接点などとも呼ばれています。
 常時は33KΩ以下で非常時40KΩ以上となるようにしてくださ
 い。極性のあるセンサー等でうまく動作しない時は端子の接続を逆にしてください。接点容量
 は12V1mA以上ならOKです。< 0Ωで常時0.1mA流れています。>

■SABタイプは上記、SAタイプ、SBタイプそれぞれの接続端子を装備しており、いずれかの検
 知で動作します。端子台の表示にしたがって接続してください。また、b接点を使用すると
 き以外は赤いジャンパー線を外さないでください。



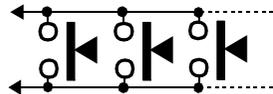
■SVタイプ(有電圧)
 通常は無電圧状態で、異常時に定められた電圧が印加される
 ものです。直流の12~48V(50V以上の印加厳禁)で動作し、
 赤にプラス、黒にマイナスを接続してください。逆接続防止
 回路を内蔵しています。< 12V印加時に1mA、48V印加時に20mAが流れます。>



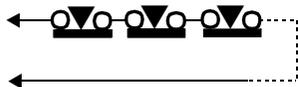
■Mタイプ
 上記の3種すべての入力端子を装備しており、いずれかの検
 知で動作します。端子台の表示にしたがって接続してくださ
 い。また、b接点を使用するとき以外は赤いジャンパー線を
 外さないでください。

複数のセンサーを接続することもできます。

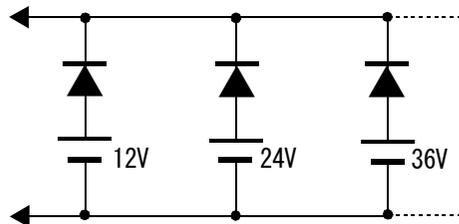
◆SA型
 下図のようにセンサーを
 並列に接続します。



◆SB型
 下図のようにセンサーを
 直列に接続します。



◆SV型
 下図のようにダイオードを使った回り込み防止回路を組んで
 ください。



誤結線は故障の原因となります。ご不明の点がございましたら、お気軽にご相談ください。

携帯電話について

●使用できる携帯電話は、リモート通話機能(取扱説明書に「スイッチ付イヤホンマイクの使
 い方」が掲載されています)のある機種で平型のイヤホンマイク端子が付いたもののみとなり
 ます。

電話機の設定方法

●携帯電話の取扱説明書の「スイッチ付イヤホンマイクの使い方」をご覧ください。一部の機
 種では「リモート通話」の設定をONにすることが必要です。

●説明書にしたがってアドレス帳の指定番号(999など)に通報したい電話番号を登録してくださ
 い。登録がない場合は直前の発信番号や着信番号に発信することがあります。

●発信規制等の動作を妨げるような設定をすべて解除してください。また、ナンバーディスプレ
 イ付きの固定電話や携帯電話で着信したときに異常通報と認知できませんので、発信番号は
 「全表示」にしてください。

●携帯電話への接続コードのプラグは確実に元まで差し込んでください。

●着信側の電話機に接続する携帯電話の番号を登録します。このとき、「ハウス異常」など判り
 やすい名前で登録してください。

●本装置は異常発生時に1回のみ発信をおこないます。着信側の電話機が通話中でも緊急通報を
 受信するため、キャッチホンや割り込み通話を設定されることをお勧めします。

●携帯電話の電波状態を確認し、最良の設置場所を探してください。受信感度が悪い場合はバッ
 テリーの消耗も激しくなります。センサーとの接続ケーブルは多少長くなっても問題ありませ
 ん。

●携帯電話のバッテリー残量には充分ご注意ください。充電器のコネクターを直接外部接続端子
 に接続しての常時充電をお勧めします。また、機種により節電設定を行ってください。

お願い
 携帯電話は電波を利用しているため、中継局の状態や容量、通話の輻輳、トラクターの側近
 通過などによって正常に通信ができなくなることがありますのでお含みおきます。